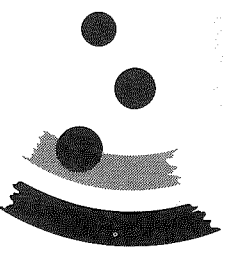


発行所 片貝新聞社 〒947-01 小千谷市片貝町10367-4 TEL・FAX 0258-84-3246 編集発行人 吉原芳郎 題字 黒崎敬渙氏



JA片貝町 シンボルマーク 天の恵み地の恵み

# 故郷思う気持ちは強し 東京片貝会総会盛況!!!

## 今年も小、中に図書券10万円ずつ贈る



6月30日午後一時から、おいて東京片貝会(阿部修次)次会長 総会が開催された。当日は東京神奈川はもちろん群馬県や静岡県などの遠方からも合わせて70名余の片貝出身者が集い、当地片貝からも吉井陽片貝町協議会長、小中学校校長、吉原市議など9名がかけつけ町の近況をその場で報告、会員は、懐かしい故郷の話に耳を傾けていた。

片貝中学校同窓会(会長 名塚孝一)第7回同窓祭が10月20日(日)中学校体育館において開催される予定。担当幹事は、新しい試みを生バンドを呼びパーティー形式で行なうという計画を進中。今年と同窓会員のみならず20才以上の町民に広く呼びかけ大勢の参加を募りたいとしている。又、この機会に、まだ新体育館を見たことがない町民にも是

合唱で幕を閉じた。同会会他にも、年2回公開紙を発行し片貝の話題などを提供したり、2月には花見会を行ない片貝出身者の交流を深めている。「今年後にもっと若い人達にも出

席してもらおうと、昨年から42才、50才、60才の厄年事務所を訪れ、会のPRもしているんですよ」と阿部会長は語っていた。会報担当の小宮善興さん(53才)は「会員の方は、年齢層が高く片貝の出来事に大変関心を寄せており、故郷は遠い所と思っても居られます。片貝を共有する心と和に少しでも役立てたならと思いい片貝新聞のニュースや写真などを紹介させて頂いてお

中学生が次々と県大会へ駒を進める中、こちらミバスクエツトチーム KATAKAI SUPER-BOYSも一足先に新潟県ミバスクエツトボール選抜優勝大会に出場し、初めての3位入賞を果たした。1回戦2回戦とも順調に勝ち進み、3回戦対山根ボーイズ(新潟地区今大会優勝)とのゲームで試合終了15秒前まで27対26の点で進行していたものの最後のワンショットで2点を入れられくやし涙の3位(詳しくは9月号で発表)

3日間に行なわれる東京電力旗第6回東北ミバスクエツトボール大会北陸大会に出場する事となった。

小千谷ゴルフカントリーに於いて7月4日、小千谷市体育協会(木村一男)会長主催のチャリティゴルフ大会が開催された。参加者からは3チーム12名のゴルフアが参加し腕を競った。成績は、一位佐藤政司さん(JA片貝町)、三位吉原孝則さん(自営)、九位丸山一朗さん(自営)と片貝勢も上位入賞、ドラゴン協会に寄贈された。

賞を佐藤守さんが獲得。プロに組ゴルフコンペ 1位藤塚俊孝、2位小野塚芳二、3位小野塚正紀、ベスグロ藤塚俊孝81

〇て組グリーン会コンペ 1位阿部利勝、2位吉原孝則、3位佐藤智之、ベスグロ吉原孝則76

静かな熱戦、将棋大会 だが、片貝勢は全滅

7月21日(日)ふる里会館において片貝将棋クラブ(会長 長佐藤邦雄)主催の片貝町将棋大会が小千谷、長岡などのクラブメンバーを招いて4人1組36名の参加で開催された。同大会は、昭和55年から始められ今年で22回目を数える。片貝のみでは上達しないと、近隣の将棋クラブに声をかけ多くの人の交流の中で腕を磨こうとするもの。午前中に、2勝勝ち負け2敗失格で予選を行い、18名が午後からの決勝トーナメントに残った。片貝からは、山口時男さん(鴻ノ巣)が名を残したものの残念ながら上位入賞は果たせなかった。優勝は恩田清一さん(四段、長岡クラブ)、「第一」の羽生を

### 中学校バレー部の活躍に期待

このところ連日猛暑が続く中、片貝のバレー部も練習に励んでいる。この暑さの中、片貝のバレー部が活躍していることが窺える。この町にも随分いろいろな団体があって、それぞれ活躍していることが窺える。

例年のことと違って、まればそれまでだが、スポーツにおける片貝人の活躍は目ざましく、中・高校生、青年とも所属するチームで名をあげており我々町民を勇気づけて

片貝中学校女子バレー部の北信越大会連続五回出場は快挙に値するもので僅か二百年足らずの全校生徒の中から、このような成績を保持することは至難のわざで、本人たちはもとより改めて指導者や父兄、関係者の苦勞に賛辞を贈りたい。

知らない人の方が多いだろうが、これ程の成果

会にまで駒を進めて欲しいと願っているが、これだけ各地に強豪がひしめいている現状では、オリンピックにおける金メダル獲得のように、マスコミがいかに躍起になって煽っても、そう簡単に勝利の女神は微笑んでくれるとは思えないが、

を得るためには、何回となく県内はもとより、県外まで足を運んで、他流試合を行ってきいている。その都度車を出すと送迎の労を惜まず、協力している父兄の力、ともにすれば家庭をも犠牲にして指導や引率にあたる先生活等、他人には測ることのできない苦勞があったことも想像できる。

何事もそうだが、やもするとこうした大きな大会に駒を進めるには、生徒の素質、努力もさることながら、学校側や父兄の対応、さらに地域の人の一丸となって取り組む三位一体の形がでないとなかなか難しい。これらが混然一体

となつて無意識のうちにも、いとも無造作にやり遂げてしまつたところに、片貝人の強さがあり、他町村の人が最も羨む点でもある。

いつも思うことだが、こうした一致協力の姿勢が町の運営にも生かすことができないものだろうか、もしこれが生かされたら、町に起つている問題点など、たちどころに解決してしまふ。

要は人のために努力や労力を惜しまない、ボランティア的精神の有無に問題があるようだ。この反省を省き、来年の機会も知れない。

夏、一服の清涼剤となるような活躍を期待する。

主張



片貝町謡曲会(藤塚健三)館において開催された。出席者99名。片貝町では戦前から謡曲が盛んで現在

は夏の数も増え10社中にもなる。同会は観世流の流れをくむもので、3ヶ月に一回は、テレビ、ラジオなどで活躍中の遠藤六郎先生(東京在住、長岡、関原出身)を招き各社中の指導的役割の人達中心に練習を重ねている。

毎年春、夏、秋と3回の練習会を催しているが、この夏の会には十日町の謡曲会のメンバーを招いてのもの。なお10月には会発足25周年を記念した大会が開かれる予定。

一始めは結婚式などで謡をやりたいたいから教わりたいと入ってくる人が多いがやがてうちに面白味を覚える。2、3年目頃からはさらに上級の謡をやりたくなってくる様です。何でもそうでしょうがやればやる程奥の深いもので一種の「行」の様なものですね、一つ、一つを乗り越えたいという事が魅力なのかも知れませんね」と夫婦で20数年謡を楽しんでいるという藤塚会長は語っていた。

静かな熱戦、将棋大会 だが、片貝勢は全滅

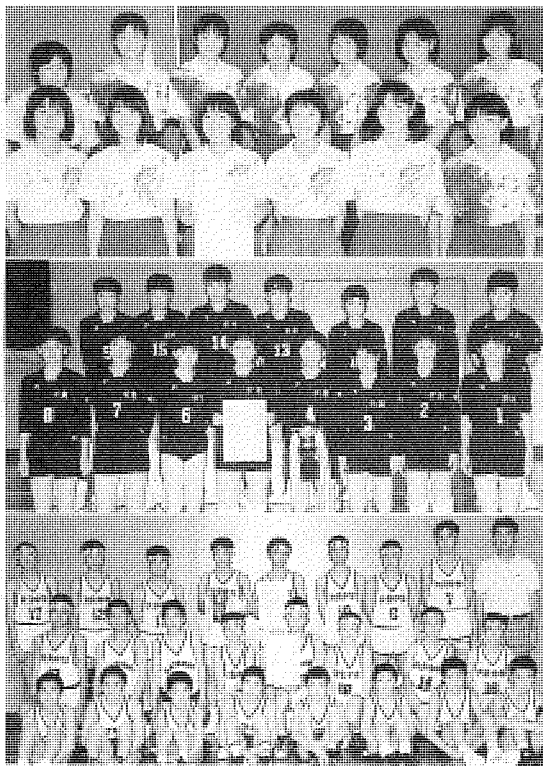
静かな熱戦、将棋大会 だが、片貝勢は全滅

# 片貝中ここにあり!

## 県総体へ大学駒進める

### バレー、バスケット、テニス、水泳

県大会常連、バレー、バスケ部に加え、今年はソフトテニス部も県大会、団体トテニス部も県大会、団体トテニス部も県大会が最後と出場の見込みを成した。今年、思いがたが、持てる力を出し切った結果だと思

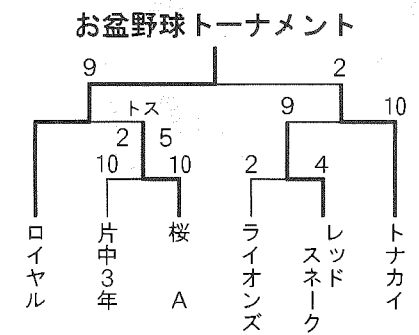
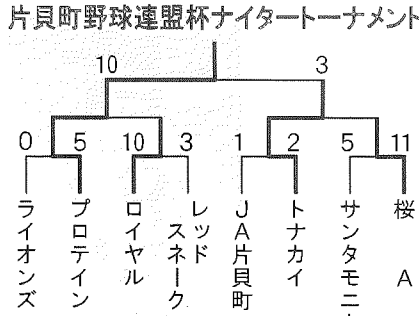


ソフトテニス、バレーボール、バスケットボール

## 各種野球大会結果

### 町の各チーム紹介Ⅲ

雨で伸び伸びとない、男君は「キャッチャーの丸山さんのサインを信じて投げ切った。これからは頑張る」と意欲満々。7月14日にはお盆野球大会が参加6チームで行なわれ決勝戦はロイヤルが常勝を飾った。優勝を飾った。優勝を飾った。優勝を飾った。



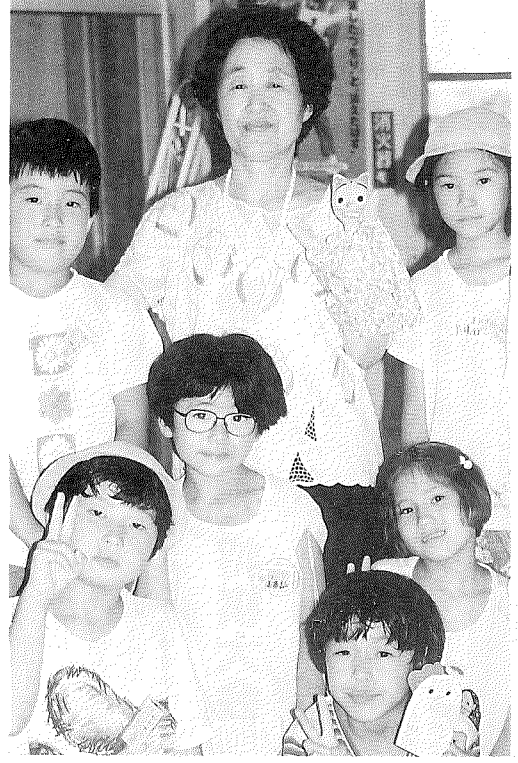
小千谷まつり(8月23、25日)に参加しようとする準備をすすめている。祭りに参加希望の方は是非申し出て欲しいと呼びかけている。(詳細は、27日に全町民に向けて案内書が配布されているので参照のこと) 連絡先 ☎(042)2004池田屋

## 片貝小にハナちゃん(米国)が日本の方がチョットタノシイデース

只今アメリカ・フロリダ州から可愛い少女が片貝小学校2年1組(前田久美子先生)に体験入学中だ。少女はオクスン・ハナ(お母さんの正子さん(町裏二区神林徳司さんの長女)と妹のアイカ(愛佳)ちゃんと共に夏休みをお母さんの故郷で過ごすために来日。ハナちゃんは「日本とアメリカの学校はどちらが楽しい」と質問すると「水泳の授業があるから日本の学校の方が楽しい」と答える程水泳大好き少女。シンク

## 片貝 ヒューマンウォッチング

吉井京子さん(63才、四之町)は、子供達に夢を与えたいとふる里会館での読み聞かせを始め、今年で8年になる。30有余年の教員生活の後、今までの経験を生かせるボランティアが出来ないかと考えていた所、知人より小千谷でもうかがせてやってみてはどうかと勧められ、子供が大好きなこともあるしそれなら出来そうと思ひ、始めたという。町の興味ありそうな人達に声をかけるところからスタート。始めは6人位が集まり現在では11名のスタッフが、自分の出来る所での参加。3月末から12月のクリスマス会までの間、毎月第1、3金曜日と週5日制が始まってからは学校から要請もあり第2土曜日も実施。会では子供達を楽しませようと大型紙芝居



3月も雪が消える頃に「又こんど行くからね」と明るく元気な声をかけてくれる子供達に出会った時など本当にうれしく思いますと顔をほころばせる。読み聞かせの会連絡先 吉井宅 ☎(042)2634 緑陰図書案内 8月5日(月)浅原神社境内 午前9時半~10時半まで。本を沢山乗せた車がやって来て大型紙芝居や人形劇などをやってくれます。沢山来てね。

## ハローベイビー

○久賀杏奈ちゃん(一之町三区) パパ透さん(31才) ママ美奈子さん(29才) 第一子二女 平成6年7月29日生 現在の体重12kg身長85cm Q 名前の由来 A 特別な意味はないがみんなが呼びやすく女の子らしい可愛い名前を探してつけました。 Q 赤ちゃんの様子



## わたしたち結婚しました

小宮文男さん(34才)屋敷幸子さん(27才)町裏 Q 結婚はいつですか A 平成8年7月7日 Q 出逢いのきっかけは? A 紹介 Q プロポーズの場所と言葉は A 車中「一緒に暮らそうよ(幸子) いろいろ(文男) Q お互いどんな所が好きですか A 夫「妻 明るく元気な所」

